

競技上の確認事項及び感染症防止対策について

- 1 開催期日 令和5年9月10日(日)
- 2 会場 北上市総合体育館 北上市相去町高前壇 27-36 TEL 0197-67-6720
- 3 開館 午前 8 時 30 分
エントリーしたベンチスタッフ・随行者は、変更の有無にかかわらず受付時にチームスタッフ変更届を提出すること。但し、選手の変更は番号を含め一切認めない。
- 4 開会式・表彰 開会式は行わない。但し、午前 9 時より本部席前に於いて代表者会議及び随行者ミーティングを行うので、各チーム代表者及び随行者は集合すること。
閉会式は行わず、表彰はコート表彰とし、6 人制男女 1 位～3 位まで、9 人制女子 1 位を表彰する。
- 5 大会使用球 今大会の使用球は以下の通りとする。
男子 (6 人制) (株)モルテン製カラーボール「V5M5000」
女子 (6 人制、9 人制) (株)ミカサ製カラーボール「V300W」
- 6 競技開始時間 第 1 試合のプロトコール開始時間は午前 9 時 45 分。
全試合追い込み方式とし、第 2 試合以降は、前の試合の公式記録用紙記入完了後 10 分後に次の試合のプロトコールを開始する。但し、試合が連続する場合は、前の試合終了後最大 20 分の休息を挟み次の試合のプロトコールを開始する。
- 7 エントリー 試合毎のエントリー(コンポジ)は、必ず受付時に配布する用紙を使用すること。それ以外のものは受付けない。配布したコンポジからリベロプレーヤーを含む 14 名以内(9 人制は15名以内)を選び、出場しない選手の番号、名前を横線で消して、第 1 試合は代表者会議終了後速やかに、第 2 試合以降は前の試合の第 1 セット終了前までに受付へ提出すること。
- 8 コートアシスタント(補助役員) 競技運営を円滑に進めるため、各チームにコートアシスタント(線審・点示)の協力をお願いする。各試合のコートアシスタントは次の通りとする。
A コート 第 1 試合 藤沢クラブより 6 名
B コート 第 1 試合 奥州クラブ、北上ホップスからそれぞれ 3 名
C コート 第 1 試合 リトルウィッチーズから 6 名
但し、随行者についてはこの限りではない。審判委員長の指示に従うこと。
(コートアシスタントの服装は、短パン及び素足は認めない)
- 9 コートの使用 各試合間の共通練習は、パスのみとし、ネットを使用しての練習は禁止する。ただし同時にすべてのコートが空いた場合は、監督同士の話し合いにより指示があるまで自由に練習をすることを認める。
- 10 感染症防止対策 (1) 入場者人数、応援に関する制限は設けない。(健康チェックシートの提出は求めない)
但し、体調の悪い方、発熱されている方の来場は控えること。
(2) マスクの着用は、個人の主体的な選択を尊重し、着用は個人の判断に委ねることを基本とする。
(3) 会場内での手指消毒等、基本的な感染症防止対策への協力をお願いする。
(4) コートチェンジ時や試合終了後のベンチ消毒は強要しない。(チームの判断に委ねる)

- (5) 試合前後の選手同士及びチームキャプテン(ゲームキャプテン)からの審判員への握手は行わない。
- (6) チームの飲み物の空き容器、ゴミ等は館内に置かず、チームの責任として必ず持ち帰ること。また、アイシング等に使用した氷をトイレや洗面台に投棄しないこと。
- (7) チーム責任者は、参加する選手・スタッフ・関係者の健康状態を把握し、体調管理を徹底させること。

11 その他

- (1) 今大会は、給水の為のタイムアウトは適用しない。
- (2) 競技中にフロアが濡れた場合、コートの中の選手が拭くか、拭ききれない場合はチームより記録席脇 1 名、ベンチの延長線上 1 名のワイパーを置くことができる。但し、エントリー以外からの場合、ユニフォーム以外の服装で、マネージャー及びコーチ的な行為は行わないこと。
- (3) ベンチスタッフについて
 - ① ベンチスタッフは既定のマークを左胸部へ付けること。
 - ② ジャケットを着用するか、統一された服装で襟付きのものを着用すること。
 - ③ 公認メーカー以外のものを着用している場合、ベンチ入りは認めるが、本大会出場時は必ず公認メーカー製のウエアを着用すること。
- (4) アンダーウエアは、ユニフォームの襟や裾、首等からはみ出してはならない。
- (5) 会場使用については、下記に留意し係の指示に従うこと。
 - ① アリーナ・トイレ・更衣室等使用を指定された場所以外は立ち入り禁止とする。
 - ② 上履き、外履きの区別を厳格にし、土足は絶対に禁止する。
 - ③ 駐車場を含み会場敷地内はすべて禁煙とする。
 - ④ 会場の施設、設備を破損・汚損した場合は、直ちに大会本部へ申し出ること。
 - ⑤ 貴重品の管理は各チームで責任をもって管理すること。
 - ⑥ 退館時は体育館の美化・清掃のご協力をお願いする。

審判上の確認事項

1. 本大会は、2023年度公益財団法人日本バレーボール協会6人制競技規則、9人制競技規則を適用する。
2. ベンチスタッフ及び選手は競技規則に精通し、これを遵守すること。
3. 全種別すべて3セットマッチの1ボール・システムとする。
4. 両チームのチームキャプテンは試合開始前にトスをし、ト스에勝ったチームキャプテンは次の選択をする。
 - (1) サーブを打つか、サーブをレシーブする権利。
 - (2) どちらのコートに入るか。トスに負けた方は残された選択をする。
5. 公式ウォームアップは、両チーム遭わせて6分間、またはどちらかのキャプテンが相手チームとは別に(連続して)公式ウォームアップを要求した場合は、各3分間行うことができる。
6. 公式ウォームアップ開始前に監督は、6人制では、記録用紙の選手リストの中からリベロとして登録する選手の番号をリベロ選手欄に記入し、サインする。また、チームキャプテンは試合開始前と試合終了後にサインする。
7. 9人制のサービスオーダー票は、監督またはチームキャプテンが公式ウォームアップ終了までに副審または記録員に提出すること。
8. タイムアウトは、次のサービス許可の吹笛までに監督が、監督不在の場合はゲームキャプテンだけが主審または副審にハンドシグナルを示して要求しなければならない。
9. 選手のユニフォームは清潔で、6人制:ジャージ・パンツ・ソックス(リベロ・プレーヤーは除く) 9人制:ジャージ・パンツのデザインと色はチームで統一されなければならない。
10. 選手は負傷の原因となる恐れのあるピン、腕輪、指輪等の金属装身具やプレー上有利になるようなものを身につけてはならない。但し、眼鏡は自らの責任において着用することができる。
11. ユニフォームを着替えるときには、ゲームキャプテンが主審の許可を得てセット間に行く。但し、同じデザインのユニフォームでなければならない。また、アリーナでの着替えはできない。
12. チームの素晴らしいプレーに対して、ベンチの構成員が立ち上がってその喜びを表すような態度は罰則の対象とならない。しかし、競技役員、相手チーム、チームメイト、更に観衆等に対する不法な行為は罰則の対象となる。
13. 選手交代の要求とは、中断の間に、プレーする準備のできた交代選手が選手交代ゾーンに入ることをいう。負傷による選手交代やセット開始前での選手交代を除いて監督は選手交代のハンドシグナルを示す必要はない。
14. チームが2組以上の選手交代を同時にしようとするときは、同一の要求とみなせるように、すべての交代選手が同時に選手交代ゾーンに入らなければならない。この場合、交代は1組ずつ連続して行われる。
15. 監督は試合を妨げたり、遅らせたりしなければ、自チームベンチ前のアタックラインの延長線からウォームアップエリアまでのフリーゾーン内で、立ちながらも歩きながらも指示を出すことができる。
16. 試合の前は、選手14名(9人制15名)はがエンドラインに整列し、主審のホイッスルで挨拶する。試合終了後は、コート上の選手6名(9人制は9名)がエンドラインに整列し、主審のホイッスルで挨拶する。なお、監督、チームキャプテンは、主審、副審にも挨拶する。コロナ感染症対策として、握手は行わない。